

北海道における 極小ナノ粒子正極を基盤とした 高性能次世代電池開発

藪 貴

北海道大学 大学院 総合化学院
無機化学研究室



未来社会のあるべきかたち

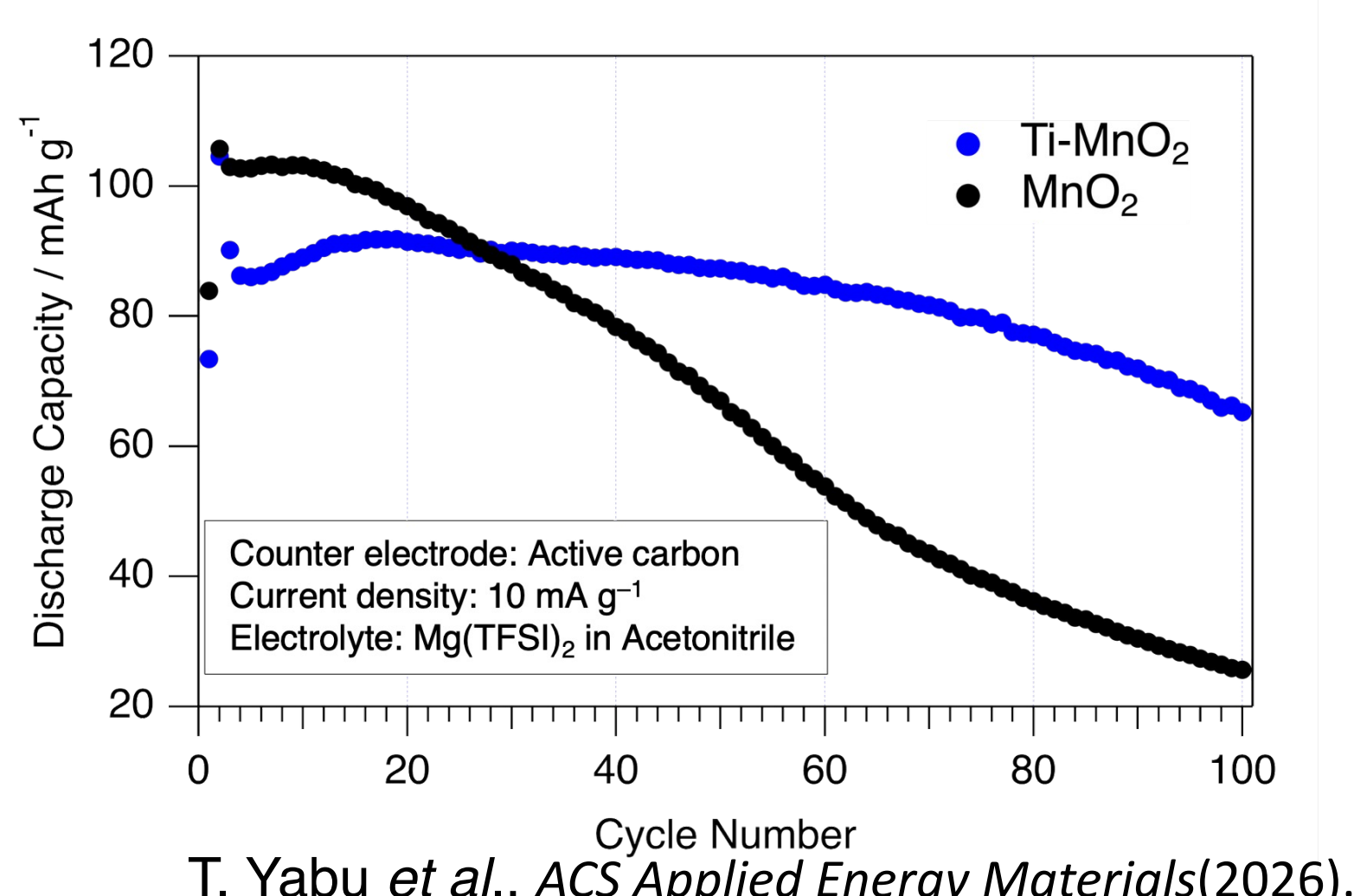
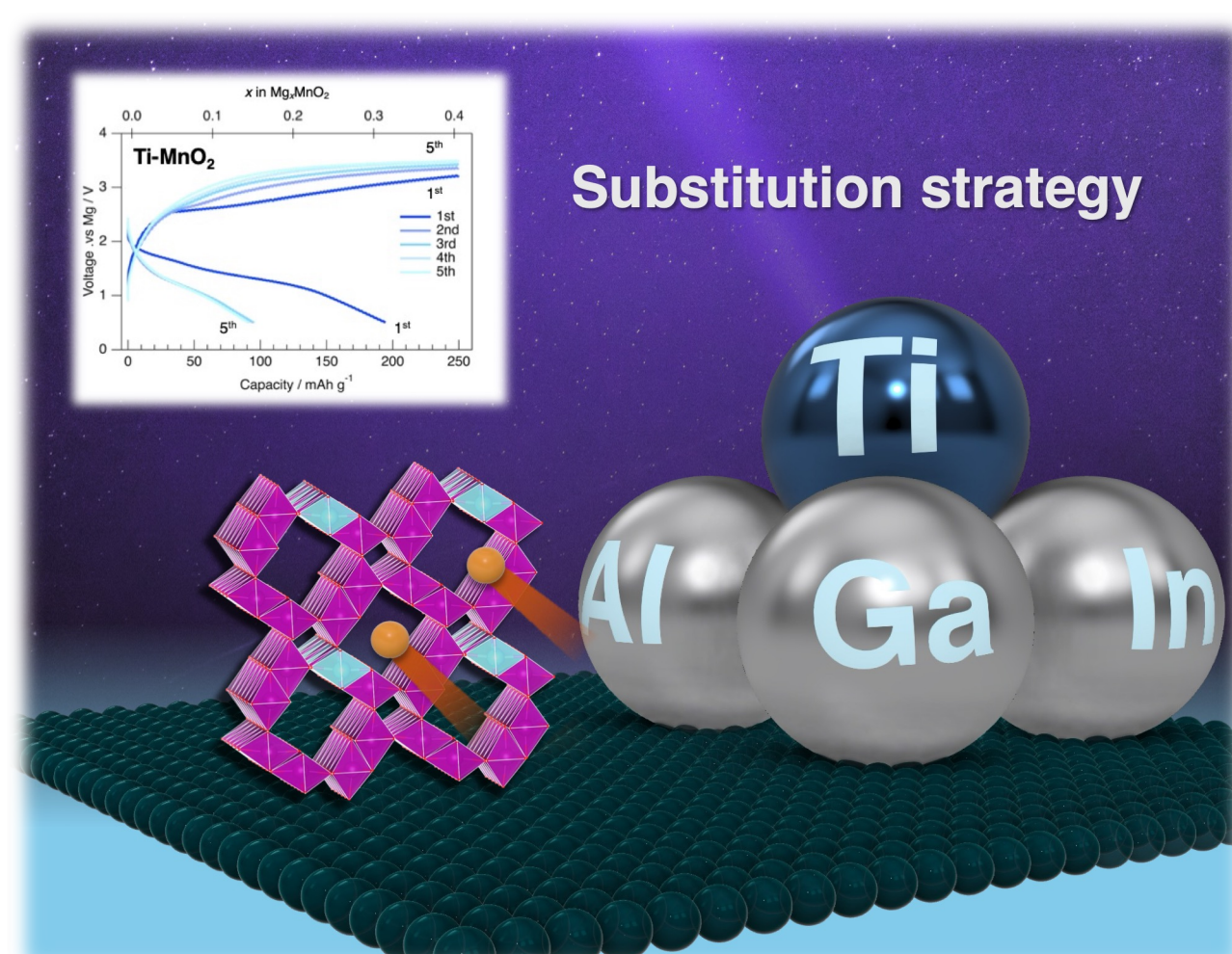
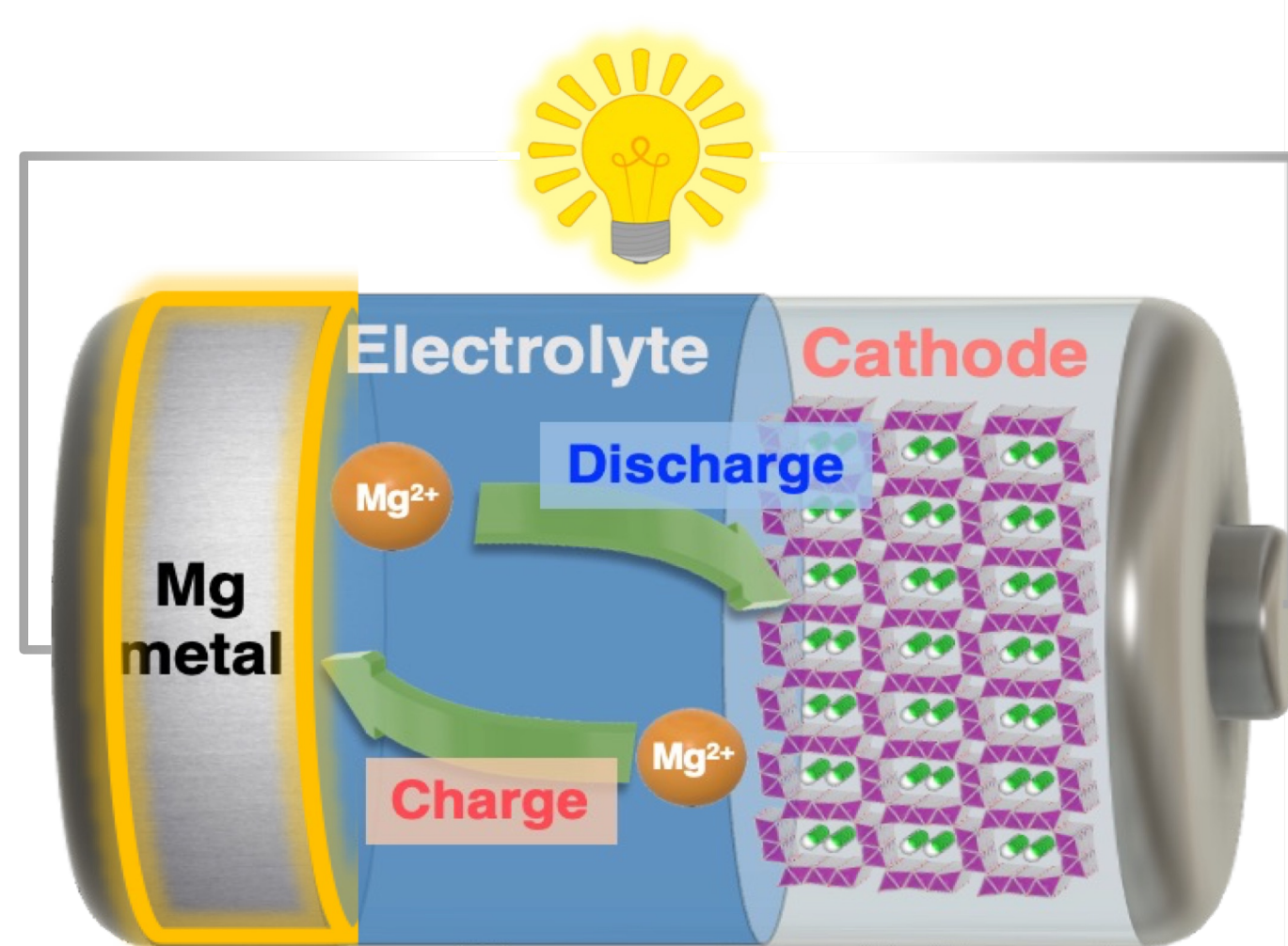
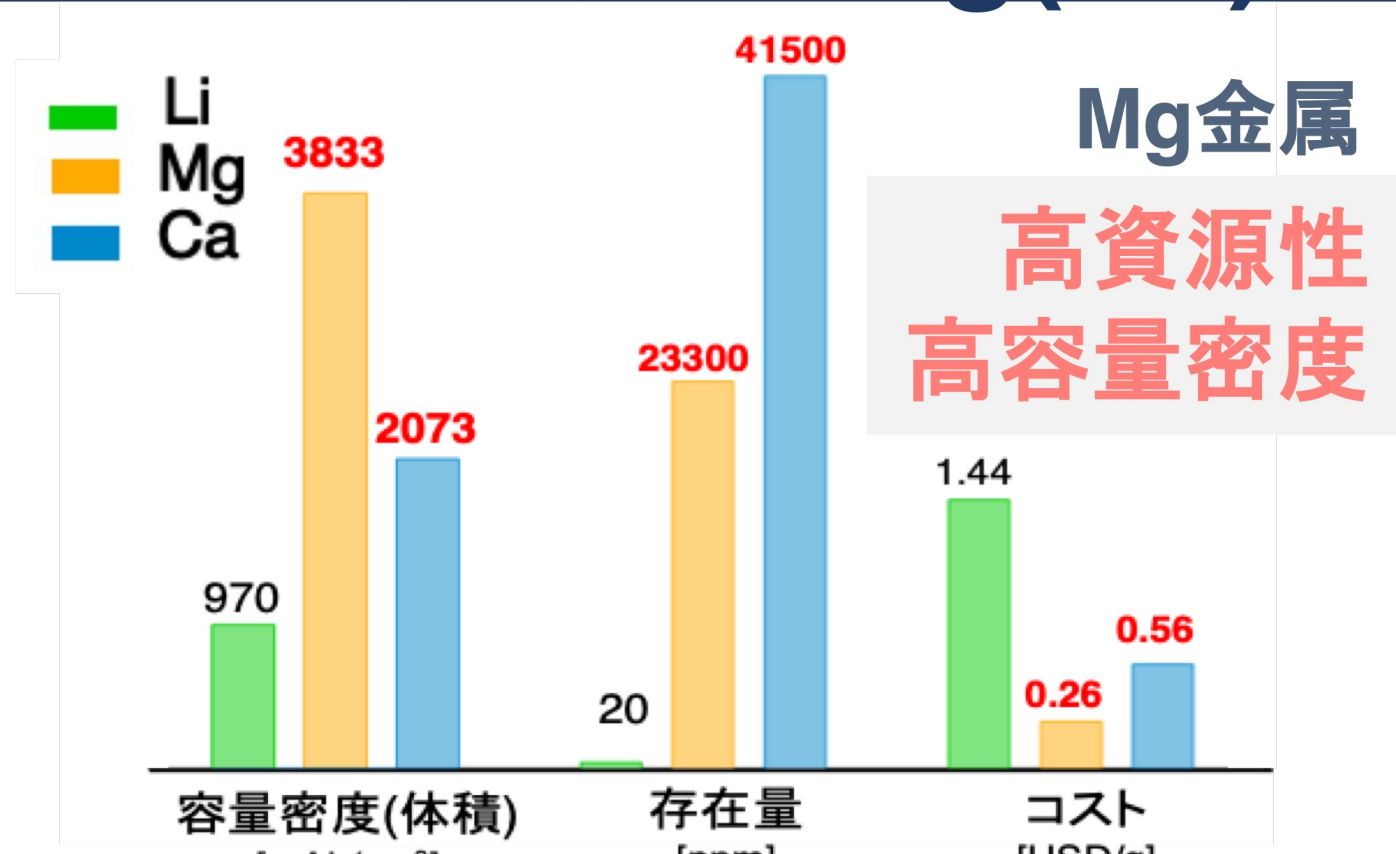
- ◆ 超高容量蓄電池導入により災害時等の電力変動に対して柔軟な社会
- ◆ スマートフォンや電気自動車において長時間動作可能かつ安全なバッテリー



再エネ利用の最大化 → Power-to-X (P2X) の構築

再生可能エネルギー（Renewable Energy：RE）の利用拡大は、我が国のエネルギー自立と脱炭素化に向けて必須の課題です。しかし発電量などの時間変動が大きいREをフル活用するためには、**REの変換・貯蔵（Power-to-X）技術**が必須となり、大型蓄電技術や水素、合成メタンや合成燃料（e-fuel）などへの転換技術が期待されています

次世代蓄電池：Mg(Ca)電池



ナノ粒子正極で次世代蓄電池の実現へ！